

2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月14日

上場会社名 株式会社キャリア 上場取引所 東
 コード番号 6198 URL https://www.careergift.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 川嶋 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループ (氏名) 辻村 淳 (TEL) 03-6863-9450
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績(2019年10月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	9,246	10.9	△18	—	△54	—	△72	—
2019年9月期第3四半期	8,337	—	183	—	204	—	107	—

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 △73百万円(—%) 2019年9月期第3四半期 115百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	△8.49	—
2019年9月期第3四半期	12.75	12.74

(注) 2019年9月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、2019年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	2,983	1,249	40.3
2019年9月期	3,131	1,350	41.7

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 1,202百万円 2019年9月期 1,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	2.50	—	3.75	6.25
2020年9月期	—	0.00	—		
2020年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日~2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	—	0	—	0	—	40	—	4.64

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2019年9月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年9月期3Q	8,624,320株	2019年9月期	8,622,080株
2020年9月期3Q	118,600株	2019年9月期	118,600株
2020年9月期3Q	8,504,835株	2019年9月期3Q	8,433,635株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の拡大や雇用、所得環境の改善など緩やかな回復基調が続いていたものの、新型コロナウイルス(COVID-19)感染の世界的な広まりにより、国内においても緊急事態宣言が発令され、様々な措置が講じられました。その結果、国内外の経済活動は大きな影響を受けております。

人材サービス業界を取り巻く環境におきましては、厚生労働省が発表した2020年5月の有効求人倍率が1.20倍と高水準の状態が継続していることに加え、総務省統計局が発表した2020年5月の完全失業率の指数は2.9%と低水準に留まる等、人材需要は高止まりが続いておりましたが、同様に新型コロナウイルスの影響により、今後については引き続き不透明な状況であります。

このような経済状況のもと、当社グループの運営する「高齢化社会型人材サービス」の環境は、内閣府の2019年版高齢社会白書によりますと、当社で定義しておりますアクティブシニア(55歳以上の働く意欲のある人)の労働力人口(55歳以上)は、2018年度の推計で2,050万人(前年対比3.2%増)、総労働力人口の30.0%を占めております。アクティブシニアの労働力人口は、年々増加傾向にあり、当社の事業領域も拡大していくことが見込まれます。

このような経営環境の中、当社は継続的な企業価値の向上を実現すべく、既存事業の継続成長及び中長期での業績向上を目的とした新たな取り組みを実施してまいりました。

新型コロナウイルス感染症拡大による影響につきましては、2020年4月上旬より派遣先企業での新規受入枠の減少、就業中のスタッフのシフト調整などが発生し、シニアワーク事業の売上高については、当初の見込みより下回りました。一方、シニアケア事業につきましては、介護施設等に対するの派遣事業であり、このような社会情勢下の中でも大きな影響を受けることはございませんでした。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比908,442千円(10.9%)増収の9,246,035千円、営業損失は、201,602千円減益の18,179千円、経常損失は、259,734千円減益の54,807千円となりました。これに特別損失、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は、前年同期比179,697千円の減益の72,191千円となりました。

なお、当社グループは、「高齢化社会型人材サービス」の単一セグメントであります。事業別の業績を示すと以下のとおりであります。

① シニアワーク事業

シニアワーク事業は、主にコールセンター、公共機関における事務作業を行うホワイトカラー職種及びビルメンテナンス、ベッドメイキング、ロジスティックスなど、身体的な作業を行うブルーカラー職種の2分野においてアクティブシニアの人材派遣、人材紹介及び業務請負を行っております。

ホワイトカラー職種においては引き続き旺盛な需要と供給力を強みに2020年4月に沖縄県で子会社を設立いたしました。新型コロナウイルスの感染拡大を原因とし、シニアワーク事業で取り扱う全業種を対象として、多くの派遣先事業所の閉鎖、営業自粛等が発生いたしました。そのため、新規採用枠の減少、就業中のスタッフのシフト削減等が発生いたしました。

この結果、シニアワーク事業の売上高は3,293,636千円(前年同期比0.9%増)となりました。

② シニアケア事業

シニアケア事業は、主に介護施設に対して、看護師や介護士等の有資格者の人材派遣、人材紹介及び紹介予定派遣を行っております。新型コロナウイルスの感染拡大を原因とした派遣先事業所の閉鎖や営業自粛等は全体的に発生しておりませんが、一部、当該事象を原因とし、派遣先事業所とスタッフの受入日の調整が難航するなどの事象が多発しましたが、業績に対する大きな影響ではございませんでした。

この結果、シニアケア事業の売上高は5,952,398千円(前年同期比17.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金などが減少したものの、流動資産のその他が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して147,757千円減少し、2,983,341千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、短期借入金、未払法人税等などが減少したものの、未払費用、未払消費税等、流動負債のその他が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して46,984千円減少し、1,734,104千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上、剰余金の配当などにより、前連結会計年度末と比較して100,772千円減少し、1,249,237千円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の41.7%から40.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2020年2月21日に公表した通期連結業績予想の修正より追記の修正はございません。

また、新型コロナウイルスの感染拡大における業績へ与える影響は軽微です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,211,784	1,004,121
売掛金	1,272,289	1,254,400
その他	64,953	173,611
貸倒引当金	△2,106	△1,104
流動資産合計	2,546,920	2,431,029
固定資産		
有形固定資産	43,346	49,789
無形固定資産		
のれん	282,765	232,735
その他	37,952	52,548
無形固定資産合計	320,717	285,283
投資その他の資産	220,114	217,239
固定資産合計	584,178	552,312
資産合計	3,131,099	2,983,341
負債の部		
流動負債		
短期借入金	715,408	502,040
未払費用	640,905	694,692
未払法人税等	19,723	5,197
未払消費税等	187,496	321,908
賞与引当金	37,781	23,214
返金引当金	91	78
その他	124,889	127,628
流動負債合計	1,726,295	1,674,759
固定負債		
長期借入金	5,298	3,768
資産除去債務	49,494	55,576
固定負債合計	54,792	59,344
負債合計	1,781,088	1,734,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	157,310	157,590
資本剰余金	137,310	137,590
利益剰余金	1,163,976	1,059,896
自己株式	△152,306	△152,306
株主資本合計	1,306,290	1,202,770
新株予約権	13,762	17,384
非支配株主持分	29,957	29,083
純資産合計	1,350,010	1,249,237
負債純資産合計	3,131,099	2,983,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	8,337,592	9,246,035
売上原価	6,597,034	7,325,301
売上総利益	1,740,557	1,920,734
販売費及び一般管理費	1,557,134	1,938,913
営業利益又は営業損失(△)	183,423	△18,179
営業外収益		
受取利息	335	48
受取配当金	0	0
助成金収入	13,708	3,321
消費税差額	11,886	—
保険解約返戻金	—	912
その他	1,530	382
営業外収益合計	27,460	4,664
営業外費用		
支払利息	826	2,440
持分法による投資損失	5,112	4,397
休業手当	—	34,455
その他	17	0
営業外費用合計	5,956	41,292
経常利益又は経常損失(△)	204,927	△54,807
特別損失		
固定資産除却損	5,031	2,880
特別損失合計	5,031	2,880
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	199,895	△57,687
法人税、住民税及び事業税	74,213	11,144
法人税等調整額	10,542	4,235
法人税等合計	84,756	15,379
四半期純利益又は四半期純損失(△)	115,139	△73,066
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7,634	△874
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	107,505	△72,191

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	115,139	△73,066
四半期包括利益	115,139	△73,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,505	△72,191
非支配株主に係る四半期包括利益	7,634	△874

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループでは、固定資産の減損会計等の会計上の見積りは、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。

新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響は、収束時期の見通しが不透明な状況であり、事業によってその影響や程度が異なるものの、提出日現在においては、当四半期末の見積りに大きな影響を与えるものではないと想定しております。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の広がりにもなう経済活動への影響等には不確定要素も多いため、想定に変化が生じた場合、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

当社は、高齢化社会型人材サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。